

緊急告知

岡山大学国吉康雄研究講座がアートイベントを開催！

国吉祭2018 CARAVAN in吹屋

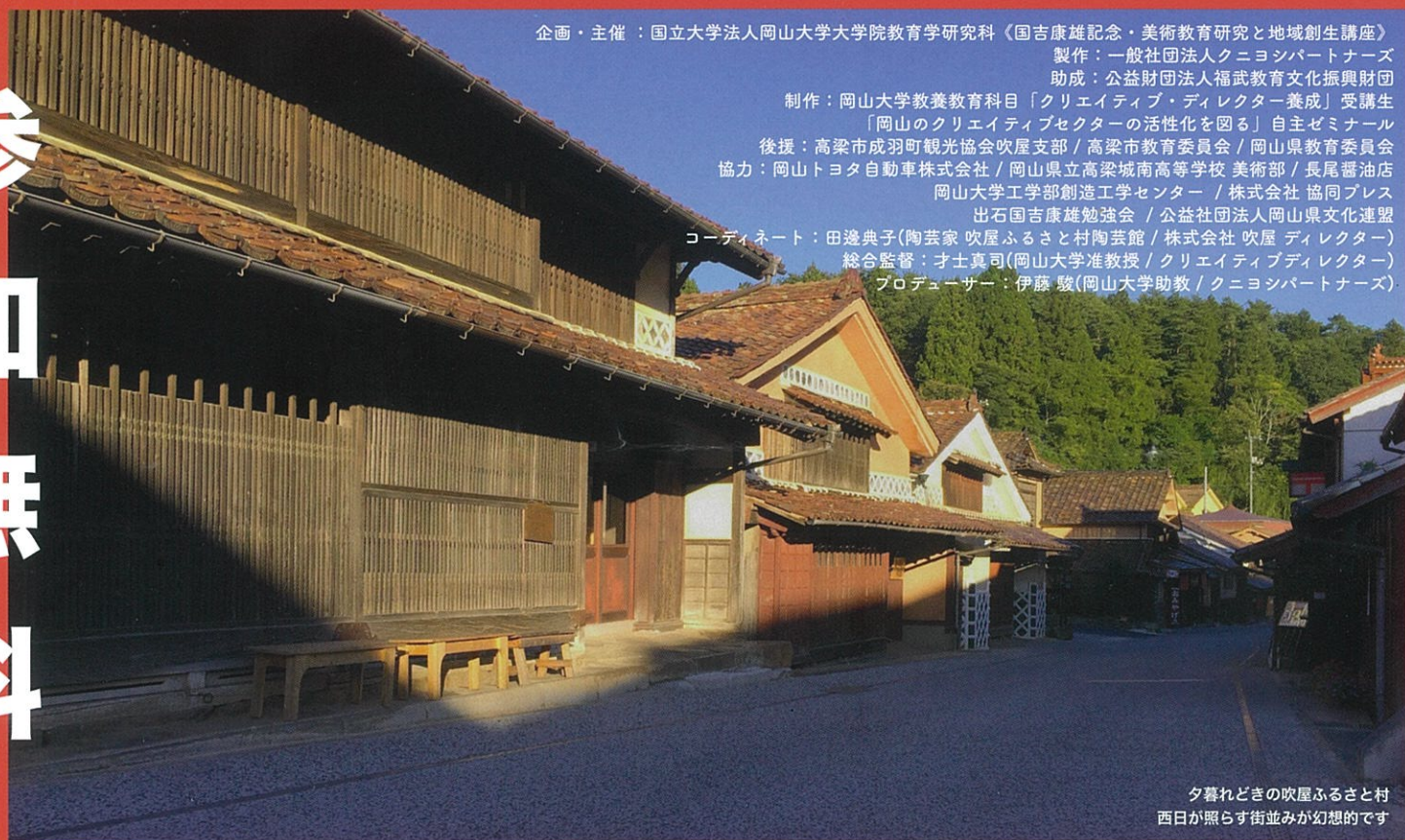
2018.7.7(土)・7.8(日) 10:00~17:00

(7日のみ夜間イベントあり)

吹屋ふるさと村 長尾醤油蔵

(〒719-2341 岡山県高梁市成羽町吹屋325)

参
加
無
料



企画・主催：国立大学法人岡山大学大学院教育学研究科〈国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座〉
製作：一般社団法人クニヨシパートナーズ
助成：公益財団法人福武教育文化振興財団
制作：岡山大学教養教育科目「クリエイティブ・ディレクター養成」受講生
「岡山のクリエイティブセクターの活性化を図る」自主ゼミナール
後援：高梁市成羽町観光協会吹屋支部 / 高梁市教育委員会 / 岡山県教育委員会
協力：岡山トヨタ自動車株式会社 / 岡山県立高梁城南高等学校 美術部 / 長尾醤油店
岡山大学工学部創造工学センター / 株式会社 協同プレス
出石国吉康雄勉強会 / 公益社団法人岡山県文化連盟
コーディネート：田邊典子(陶芸家 吹屋ふるさと村陶芸館 / 株式会社 吹屋 ディレクター)
総合監督：才土真司(岡山大学准教授 / クリエイティブディレクター)
プロデューサー：伊藤 駿(岡山大学助教 / クニヨシパートナーズ)

夕暮れどきの吹屋ふるさと村
西日が照らす街並みが幻想的です

展示：国吉康雄作品と実寸大模写作品ほか

イベント：仮面作りほかアートワークショップ

講演会：「地域とアート」をテーマに

岡山大学の先生たちがトーク

国吉祭×吹屋ふるさと村



国吉康雄「ものをもつ女」
福武コレクション蔵
(会場にて模写作品を展示)

今年の「国吉祭」は、岡山県内各地を巡ります。その名も「国吉祭2018 CARAVAN」。「国吉祭」を開催することで、地域と学生が交流し、互いに新たな発見があることを期待しています。その1回目が行われる高梁市吹屋町は、国吉祭にとって縁ある場所。2016年、この町を代表する広兼邸の修復後の初イベントとして「国吉祭2016」が行われ、好評を博しました。今回は、赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された美しい町並みで国の重要伝統的建造物群保存地区に認定された「吹屋ふるさと村」が国吉祭の舞台となります。

タイムスケジュール

7月7日(土) 10:00~19:00

寺子屋「シリーズ・地域とアートと私たち」

吹屋ふるさと村のイベントスペースとしてリノベーションされた長尾醤油蔵が、「地域とアートへの関わり方」について学ぶ、寺子屋に变身！岡山・瀬戸内のアートと地域の関わり方を、岡山大学の講師陣が紹介します。

13:00~14:00

「瀬戸内海・直島の軌跡 ベネッセアートサイト直島の運動」
江原久美子 「ベネッセアートサイト直島」元学芸員
岡山大学大学院教育学研究科准教授

14:30~15:30

「出石から国吉康雄を 郷土の画家の再発見と再発信」
伊藤 駿 岡山大学大学院教育学研究科助教

16:30~17:30

「岡山の洋画家たち」
赤木里香子 岡山大学大学院教育学研究科教授

18:00(夜小屋)~

「地域とアートと私たち」
田邊典子 陶芸家・ディレクター
×
才士真司 クリエイター・岡山大学大学院教育学研究科准教授

アートワークショップ(7日,8日両日とも17:00まで参加できます)

国吉康雄が、その作品のモチーフに多用した「仮面」を制作するワークショップや、オリジナルの絵の額を作る「額装ワークショップ」などを無料で実施します。国吉祭開催中はいつでも参加することができます。



アートワークショップの様子

国吉康雄とは



Photo by Souichi Sunami

20世紀前半のアメリカを代表する洋画家・国吉康雄は、1889(明治22)年、出石町に生まれ、日露戦争が終わった翌年、岡山県工業学校染織科を中退後、16歳で単身アメリカに向けて旅立ちました。アメリカで絵の才能を見出され、画家として活躍。病に倒れた父を見舞うため、岡山に一度、帰郷しますが、生涯をアメリカを拠点に活動。太平洋戦争中は敵国人とされながらも、アメリカにとどまり、自らの信念に従って自由と民主主義を信じ、ナチズムや軍国主義を強く批判しました。後進の育成やアーティストの権利獲得運動にも奔走し、全米美術家協会の初代会長を務め、ベネチア・ビエンナーレのアメリカ代表に選出されるなど活躍をしますが、1953年、ニューヨークで胃癌のため没します。岡山には世界最大規模の国吉康雄コレクションがあり、その総数は700点を超えます。また、近年の顕彰・研究活動は国内外から注目を集めており、2015年に開催されたワシントン・スミスソニアン・アメリカン・アート・ミュージアムでの回顧展には、

国吉祭とは

「海外で高い評価を受けてはいても、故郷の岡山での知名度はそれほどでもない画家・国吉康雄。そんな国吉の作品や最新研究を、多くの人に発信したい」という、市民や学生が企画した体感型アートイベントが「国吉祭」です。2013年から、国吉の故郷、岡山市出石町住民により開催されてきた国吉祭に、2015年から、岡山大学大学院教育学研究科「国吉康雄研究講座」が参加。これまでに、作品展示やアートワークショップなどを、岡山大学、岡山県立大学、岡山市立後楽館高等学校の学生と市民有志、東京からのプロスタッフなどと作り上げ、岡山市内を中心に開催してきました。



国吉康雄「ミスター・エース」
福武コレクション蔵
(会場にて模写作品を展示)

7月8日(日) 10:00~17:00

カゼインワークショップ

11:00~12:30ごろ

「すぐに(風に当てれば10分ほど)乾く」「重ね塗りが短時間で可能」。こんな「カゼイン絵具」の特徴と、カゼイン絵具を使った様々な描き方を紹介しながら、実際にカゼイン絵具を使った制作を行います。絵を描くのが好きな方には新たな発見が。絵を描くことに慣れていない方も楽しめるワークショップです。国内ではあまり使われなくなったカゼイン絵の具での創作を、ぜひこの機会に楽しんでください。



カゼインで描かれた絵画
国吉康雄「舞踏会へ」
福武コレクション蔵

定員：10名(高校生以上・要予約。下記お問い合わせ先にご連絡ください。)
持ち物：なし(絵の具を使った作業です。服装にお気をつけてください)
会費：無料
注意点：カゼイン絵具には牛乳成分が含まれています。アレルギーがある方は、参加をご遠慮ください。

国吉康雄検証ドキュメンタリー「国吉を誤解している日本・忘れたアメリカ」上映会

14:30~16:00

国吉康雄の弟子で、アーティストのブルース・ドーフマン氏や、アメリカのバード大学で、国吉康雄の研究をしているトム・ウルフ氏などのインタビュで構成。上映会終了後は才士真司監督による貴重なトークも実施します。

クリエイティブ・ディレクター養成講座とは

2015年に岡山大学に設立された「国吉康雄研究講座」が同大学で開講している教養教育(一般教養)講義です。学生は各学年・各学部から集められ、同大の准教授で、クリエイター、映像作家の才士真司氏の指導のもと、各々のクリエイティブティターの鍛錬を目標に、国吉祭の企画・運営を行います。

アクセス

車
JR伯備線備中高梁駅/車40分
岡山自動車道賀陽IC/車50分

バス(備中高梁駅発)
吹屋行きバス55分/終点下車

駐車場
普通車100台/バス5台

SNS

HP / www.yasuo-kuniyoshi-pj.com
twitter.com / [FesKuniyoshi](https://twitter.com/FesKuniyoshi)
facebook.com / [yasuo.kuniyoshi.pj](https://facebook.com/yasuo.kuniyoshi.pj)

お問い合わせ

国立大学法人岡山大学大学院教育学研究科
《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

Tel 086-251-7633(直通)

Mail s.ito@okayama-u.ac.jp